

国立研究開発法人国立環境研究所
契約監視委員会（第23回）議事概要

1. 日時

令和4年6月16日（木）13:30～15:30

2. 場所

TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター（オンライン会議併用）

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

小田部 典子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）

野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）

古米 弘明（中央大学研究開発機構 機構教授）

矢野 奈保子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

4. 開会

議事に先立ち、是澤理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

(1) 前回議事概要の確認について

(2) 令和3年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和4年度調達等合理化計画(案)について

(3) 令和3年度下半期の随意契約について（抽出審査1件）

(4) 令和3年度下半期の一者応札・応募事案について（抽出審査1件）

(5) 令和3年度下半期の特例随意契約について（抽出審査1件）

(6) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の確認について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和3年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和4年度調達等合理化計画(案)について
事務局より資料に基づき説明が行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 令和4年度調達等合理化計画において、一者応札・応募に係る現状と要因分析の中で「応札・応募辞退者を対象としたアンケート調査による情報収集等を行うことにより、一者応札・応募の低減に寄与した。」とあるが、情報収集等を踏まえ、どのようなフィードバックをしたのか、何を改善すべきだったのかということと言及すべきではないか。
(→「応札・応募辞退者を対象としたアンケート調査による情報収集を踏まえ、公告開始から提案書等締切までの期間の十分な確保、業務内容の更なる明確化等を行うことにより、一者応札・応募の低減に寄与した。」とする。)

(3) 令和3年度下半期の随意契約について

令和3年10月1日から令和4年3月31日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件（16件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査1（令和3年度設置型超音波受信機・動物搭載型超音波発振器 1式）

➤ 特段の指摘事項なし。

(4) 令和3年度下半期の一者応札・応募事案について

令和3年10月1日から令和4年3月31日までに契約締結した案件のうち、前年度（複数年契約を行っている案件については前回契約）に引き続き一者応札・応募となった案件（6件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査2（GOSAT-2データ処理運用システム用計算機（第6次導入）1式）

➤ 特段の指摘事項なし。

(5) 令和3年度下半期の特例随意契約について

令和3年10月1日から令和4年3月31日までに契約締結した案件のうち、特例随意契約案件（76件）について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査3（令和3年度環境問題事例の科学的経緯情報収集整理と環境基準等の設定に関する資料集の作成支援業務）

➤ 特段の指摘事項なし。

(6) その他

- ・ 次回の委員会は概ね半年後に開催予定。
- ・ 結びとして事務局より、議事概要、一者応札・応募等事案フォローアップ票及び特例随意契約事案フォローアップ票について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページにおいて公表することを報告した。

以上